

災害に備え、乳児用液体ミルクの備蓄を開始します

大規模災害時には、ライフラインや物流が止まる可能性があります。清潔な水を手に入れることが難しく、仮に水を手に入れたとしても、その水を加熱することができない場合も想定されます。そのような状況下においても、乳児の栄養状態を守り、保護者の負担軽減を図るために、四日市市では乳児用液体ミルクの備蓄を令和3年9月から開始しました。

乳児用液体ミルクは、常温保存ができ、お湯を必要としないため、災害等の非常時にはそのまま飲むことができます。なお、本市では、乳児を対象とした災害用備蓄品として、粉ミルク・哺乳瓶等の備蓄も行っています。

【備蓄する液体ミルクについて】

- (1) 品 名 明治ほほえみ らくらくミルク (1缶240ml)
- (2) 数 量 96缶
- (3) 使用方法 災害時に必要に応じて避難所等で使用



災害はいつ発生するか分かりません。大規模災害による被害を防ぐためには、日ごろから十分に備えをしておくことが大切です。水や食料は最低1週間分を備蓄してください。毛布、衣類、洗面用具、携帯電話用バッテリー、カセットコンロなどの生活用品のほか、マスク、消毒液、体温計などの衛生用品も備えておきましょう。

